

大好き! 幾春別川

DAISUKI! IKUSYUNBETSU RIVER

2007(平成19年)9月30日(日曜日) (1)

VOL.19

●無料誌 ●年4回発行 ●部数:5万部 ●配布エリア:岩見沢市・三笠市・美瑛市

発行元: 幾春別川ニュース編集委員会
編集委員長 嵯峨 義輝

〒068-0007
岩見沢市7条東9丁目 石狩川開発建設部岩見沢河川事務所内編集委員会事務局
TEL: 0126-23-9555 FAX: 0126-25-1697

幾春別川 2007 大自然を思いきり満喫!



僕、ちょっとプロっぽい?
化石のクリーニング【桂沢トムソーヤ】



どこまでも飛んでけ、シャボン玉!
まん丸や、だ円形、色々な形のシャボン玉が出来ました。【ダムフェスタ】

夏休みの思い出



いざ出発! ラフティングで約3kmの川の旅に出かけてきま〜す。どんな出会いが待っているかな?
【ダムフェスタ】



まるで森の妖精みたいな子供たち。巨木、桂沢のミスナラの前で記念撮影
【桂沢トムソーヤ】



ツリーイング(ロープ木登り) ちょっとミノムシみたい? 木の上には素晴らしい景色が広がっているよ。頑張っ、てっぺんまで上るぞ!
【桂沢トムソーヤ】



「焼いて食べるよ!」とたくさん
のニジマスを釣上げた須永 翔君
(三笠小3年)。お祖父ちゃんと参加してくれました。エサは農家のお祖父ちゃん家の堆肥にいるミミズ!
「自家製のエサだよ」なにもかもが自然です。
【親子釣り教室】



水田になんか、負けないぞ〜!
『地下浸水体験装置』で実験
「地下に閉じ込められたら、脱出するのがとても難しい!」ということがわかりました! 【ダムフェスタ】

毎夏、幾春別川では子供たちを対象にした様々なイベントが開かれています。

7月29日は三笠市や桂沢ダム管理所が実行委員の「三笠ダムフェスタ2007&遊園まつり」が開催され、約2,000人の親子が参加。「地下浸水体験装置」や「シャボン玉づくり」などの楽しい「夏遊び」が盛りだくさんでした。

8月4日には、悠遊桂沢倶楽部主催が「桂沢湖の自然で遊ぼう! 桂沢トムソーヤチャレンジ」を開催。37名が参加して三笠の大自然の中で、カヌーやツリーイング(ロープ木登り)などを体験しました(詳細は2ページを参照)。

三笠の大自然は子供も大人も元気になること請け合いの、ワクワク体験があります。来年はぜひ参加してみませんか!



エソオオアカゲラ

ヤマゲラ・エソオオアカゲラ (共に留鳥・キツツキ科)

エソオオアカゲラは森の中で比較的よく見られる種類で、よく知られているエソアカゲラよりも一回り大きく、オスの頭全体が赤いのが特徴です。反対にメスは黒です。よく知られているドリミングも大きく、迫力のある音を出します。あまり人を恐れず、比較的ゆっくりに観察できるキツツキです。森林性の強い種類ですが、山間に近い幾春別川河畔林でも見ることが出来ます。

ヤマゲラは、オオアカゲラより少し大きく、キツツキの間では一番きれいな種類です。森林性が強く、森から出ることはありません。黄緑色の体で大型なので、比較的観察しやすいと思います。黄色い目をしてるので、一見、虫類の目に見えます。鳴き声は、「キョッキョツ」と泣きますが、「キケツケツケツ」と甲高く鳴き、ある人は「人を小馬鹿にしているように聞こえる」と言います。(私もその様に聞こえます!)

流域の鳥たち 2

写真家 若林 信男
(わかばやし のぶお)
岩見沢市在住



ヤマゲラ

2007年 幾春別川 夏の思い出

1面続き

子どもたちの冒険心をくすぐる三笠の 大自然を舞台にした桂沢トムソーヤ!



カヌーから飛び降りて、桂沢湖で気持ち良さそうに
スイスイと泳ぐ子どもたち

ウッドバーニングに
挑戦したよ!



草むらに何かいるかな? ネイチャーゲームで自然の神秘を感じる子どもたち

桂沢湖畔公園・みかさ・遊園キャン
プ場にて8月4日・5日、「自然体験
カヌーで遊ぼう野外宿泊研修会」が開
催され、三笠市の小学2年生から中学
2年生までの37名が参加しました。
初日はあいにくの雨。屋内で化石の
クリーニングや木片に焼きこいでデザ
インするウッドバーニングのほか、今
年50周年を迎える桂沢ダムや地元森林に
生える巨木を見学しました。

夕食は炭火でシンギスカン。準備か
ら片づけまで大人も子どもも一緒に取
組みました。キャンプファイヤーは中
止になりましたが、多くの子どもが、
「もうしてもテントに泊まりたい」と
のことで、みんなで協力してテントを
張り、友だちとの一夜を過ごしました。
翌日は天候も回復。夏の日差しの下、
桂沢湖にカヌーやEボートを浮かべて
元気に漕ぎ出しました。湖に飛び込ん
で泳ぐ子もいたり、スローロープを使
った安全講習も行いました。

湖畔ではロープで木に登るツリーイ
ングに挑戦するなど、地元の自然の中
での貴重な体験となりました。

文責 幾春別川倶楽部 坂本拓二

憩いとふれあいのネットワーク

幾春別川のよりよい川づくりをめざして —幾春別川ふるさと川づくり懇談会—

みなさん、ご存じですか? 幾春別川と利根別川が最も接近する
岩見沢市東町の幾春別川左岸に公園があることを。

通称「消流雪貯水池」と言われ、水量の少ない利根別川に幾春
別川から水を補給することを目的に平成10年に造られたもので、
岩見沢市の「河畔広場」と一体になっています。駐車場やトイレ
も整備され犬の散歩にも利用されています。

「幾春別川ふるさと川づくり懇談会」(河川事務所や自治体
市民団体が構成)は、平成16年から「よりよい川づくり」を協働
で進めようと、意見交換や現地見学を行ってきました。

平成18年からは具体的な川づくりの第一歩として、岩見沢市東
町の公園をもっと市民に利用してもらう場にししようとワーキング
会議も行き、施設の充実や名前、利用用途などについて話し合っ
てきました。

8月9日は2回目となる現地見学を開催。26人が参加して幾春
別川の新川橋から「消流雪貯水池公園」を経由し、ガーデンテラ
スまでのコースを回って感想などを意見交換しました。

できるところから始めていこうと、幾春別川、利根別川、市内
の公園などをネットワークで結び看板の作成やイベントの開催を
進めながら市民へアピールし、名前も決めていく事としています。

みなさんも一度、サイクリングや散歩に訪れてみませんか。



自分たちの手でまちをきれいにしよう! とフラワーラインに
ご参加いただいた地域住民の皆さん

春日町から自家用車
で駆けつけてくれた、
日赤奉仕団岩見沢支部
の春木弘子さん(62)
は、「月に1回は刈っ
ていますが、けっこう
雑草が生えますね」と
丹念に草刈をしていま
した。

このように、みなさ
んの努力によって幾春
別川周辺は美しい風景
が保たれています。



石だらけの荒地が黄色い花畑になる日を夢見て...
北村地区の皆さん

河川敷には大小たくさ
んの石があり、30人ほど
の参加者は約2時間かけ
て丹念に一つ一つ取り除
いていきました。
参加者は「腰が痛くな
ったときれいになって
良かった。ヒマワリや菜
種の黄色で畑が埋め尽く
されるのが楽しみ」と話
していました。

ますます夢が広がる北
村地区です。

石拾いをしたあと、ヒマワリを植えました
(写真は9月6日に撮影)

川の活動あれこれ

幾春別川の川づくり フラワーライン2007

岩見沢のNPO法人 幾春別川を
よくなる会の主催で、「フラワー
イン2007初夏」が6月27日、「
フラワーライン2007夏」が7
月19日に開催されました。

狩野橋左岸の河川敷歩道にはき
れいな花々が植えられており、「自
分の住むまちをきれいにしよう」
と50人ほどの地域住民が各自鎌や手
くわを持参して、雑草や下草刈りを
行いました。

北本町の町会長、宮本登さん(75)
は「植えっぱなしにせず、小まめに
雑草も取らないとだめですね」と毎
年率先して参加しています。他の皆
さん同様、宮本さんも散歩コースの
一つにしており、花を愛でるのをこ
とも楽しみにしています。

「自分たちの住む周辺をきれいに
する」というのは、そのまわ全体を
きれいにすることに繋がっていくと
思います」と教えるくれました。

また、8月8日には、「サケのの
ぼる川 地域ふれあい清掃」も開催
されました。

菜種油で石鹸を作ろう!

北村の旧美唄川で河川清掃
岩見沢市北村地区で6月30
日、旧美唄川河川敷にある「水
辺の楽校」周辺の河川敷地の清
掃事業が開催されました。NPO
法人の山のない北村の輝きの
主催。

今年は草刈りのほか、ヒマワ
リの植栽のため、石の除去が行
われました。約4500平方m
の土地に、緑肥用にヒマワリを
植えたあと菜種の種を播く予定。
菜種油を石鹸として利用するな
ど様々なアイデアを構想中です!



川とわたしの思い出

NPO法人 山のない北村の緑き 事務局長



しま かつお 島 一雄さん

ヌッパの沢でカジカ釣り

高校まで三笠市で暮らして... 最初に思い出すのが、実家の...

△を作ったりして遊んでいま... 小学校の5、6年生の頃に...



実家の近くにいる私。写真の奥が本郷橋

風系にスルメの足を縛って大きな... おもしろいくらいよく釣れました。

ものです。今は川の切り替えで無く... 北村で送っています。上流と下流の...

北海幹線用水路の歴史

北海土地改良区の資料によると、1924 (大正13) 年、1町6カ村【岩見沢町、砂川村、沼貝村、三笠山村、栗沢村、幌向村、北村】の有志が集まり、力を合わせて日本一の大米穀地帯にしようという「国づくり」の発想で、北海かんがい溝 (現・北海幹線用水路) が計画されたのです。



川向頭首工 (三笠市岡山~岩見沢市東町)

★川向頭首工 (三笠市~岩見沢市)

北海幹線用水路は赤平市の北海頭首工が用水路のスタート地点。空知川から毎秒42.5立方メートルの水を取水し (1年間で札幌ドーム約200杯分)、用水路に配水されています。



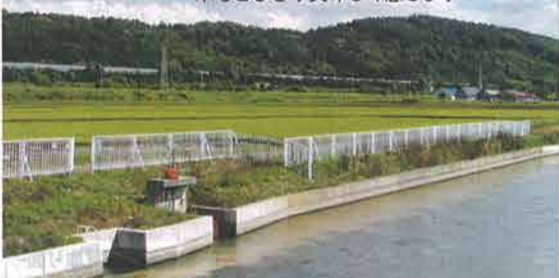
北海幹線用水路 (三笠市岡山)

幾春別川流域では「市来知 (いちきしり) 頭首工」と「川向 (かわむかい) 頭首工」から取水されています。川向頭首工から川向幹線用水路へ、そして網の目を張り巡らしたような右岸地域の水田地帯の支線から、それぞれの水田へと配水されています。



★ご飯を食べて大きくなる!

稔り豊かな稲穂ができるのも北海幹線用水路のお陰です。大型建設機械のない当時に、ツルハシやスコップなど人力による重労働で掘削して造られた北海幹線用水路。先人たちの苦勞の歴史を知ると、お米もとびきり美味しく感じます!



美瑛市茶志内町



美瑛市峰延町



美瑛市光球内町

沙智子の感想

北海土地改良区が、北海道の米どころである空知の農家を支えるという、大きな役割を担っていることを知りました。もし水路がなかったら... 管理がされていなかったら、私たちはどうなってしまうでしょう。特に、今年のような渇水時、縁の下力持ちがここにいました。今日も感謝して「いただきーす!」自然の恵みのおかげです。また、ウォーキングや植樹など、地域住民を巻き込んだ活動が、そのまま、まちづくりになっています。おもしろい活動に皆で参加しよう!

沙智子の体験ポイント



幾春別川 探検隊!

今回は、北海道遺産の

「北海幹線用水路」

をご紹介します!

■北海道教育大学岩見沢校 スポーツ教育課程 アウトアライフ専攻2年、花田沙智子 (はなだ さちこ) がレポーターとして、幾春別川流域の川と関りの深い施設をご紹介します!

今回の案内人

北海土地改良区

みどり 愛称: 水土里ネットほっかい

たかやなぎ ひろき 高柳 広幹さん

今年は前半の雨不足が心配され、近年まれに見るかんばつでしたが、現在は順調な生育が見込まれています。秋には空知産の美味しい新米ができるのを楽しみにしてください。

★ハーブ植栽やウォーキングなどイベントいろいろ! (美瑛市)

用水路の幅は最大で約14mで、用地幅が最大で54mの箇所があり、土地を活用した景観づくりが各地で進められています。景観づくりの一つとして、地域住民や子どもたちが参加して用水路のまわりにハーブや花などを植える活動を行っています。また、用水路を地面の下に埋め、その上に公園 (親水公園) も造られ、地域住民に親まれた空間として利用されています。

他にも、7月下旬には用水路沿いのウォーキング大会も催され、北海幹線用水路を知っていただくための、さまざまな活動が展開されているのです。

わたしたちの活動紹介

Part. 6

川を中心にした活動を展開する仲間たちをご紹介します。

■三笠市

みどりの回廊を守る会



河川敷のゴミ拾い



春の植樹作業 (上) と冬に行われる木の防護作業

岡山連合町内会では、平成10年 咲き、地域住民の散歩コースとしてから岩見沢河川事務所と「みどり」で親しまれております。の「回廊事業」に取り組んでまいりました。また、岡山小学校、菅野中学校の生徒たちも植樹に参加し、自分たちで植樹した木に名札などを付け、成長を楽しみにしています。みどりの回廊を守る会」を発足し、クリやクルミの木などは実を付ける様になってきました。春には冬囲いの撤去を行い、また今年も子どもたちがクリ拾いなどを行い、川の動植物の観察、川月には樹木周りの草刈り、10月には樹木周りの草刈り、10月には樹木周りの草刈り、幾春別川クリーン作戦で「ゴミ拾い」を心に残し、成長していくものと植樹を、11月には冬囲い、野と想われます。岡山連合町内会では、地域の財産として末永く見守り続け、みどりの回廊事業の成功を願っています。結果、雪害も野ネズミの被害も少なく、樹木の生育も良く、春には北コブシの花、桜、ツツジなどが (文責: 佐藤雅功)

流域の人と歴史

洪水体験談 VOL. 6

小学生のときに体験した昭和36、37年の水害
動物の死骸が浮かび、思い出すたびに鳥肌が...

北村で生まれ育った私には、夏は旧美唄川で魚釣りや蟹取り、冬は堤防から川に向かってスキーやソリで遊んだことなど楽しい思い出がありますが、もうひとつ、大変な思い出もあります。低地が広がる北村は、水害の常襲地でもありました。

昭和36、37年の水害は小中学生のときでした。河川が増水し始めて近所の人から「石狩川の堤防が破れた。間もなく、こちらにも水が来て水害になる」と連絡が入るやいなや、父は耕耘機やトラックなどを堤防の上に移動し、母は家財道具を納屋の2階へ運ぶなど慌ただしく走り回っていました。ついに石狩川の堤防が決壊し、流れ込んだ水は住宅に歩

み寄って浸水を続け、一帯が沼から湖へと化けました。子ども心に、「僕たちはどうなるのか」と強い恐怖心を覚えたものです。

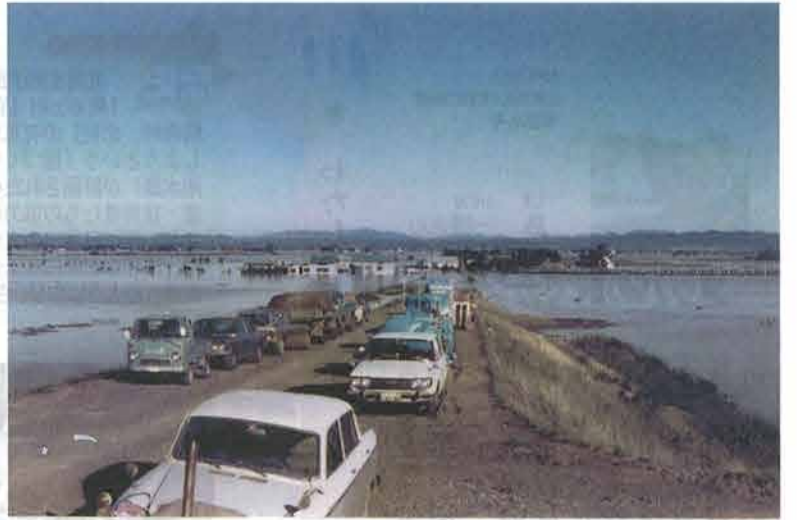
冠水した時は背が立たないくらいの水深となり、ゴミと共に昆虫やねずみ、さらには豚などの家畜の死骸が家の中まで流れ込みました。思い浮かべると鳥肌が立つほどの嫌な思い出です。

消防職員として35年の勤務で、水害を体験したのは昭和50年、56年の洪水です。

昭和50年洪水のときには、越流を防ぐため消防職員と地域住民が不眠不休で、堤防に土のう積みに行きました。しかし自然の力には勝てず、北村の豊正地区などから越水がはじまり、数百メートルに亘って、川の水がナイヤガラのように音をたてて流れ込み、下流の中央地区まで数時間で達する勢いでした。

中小屋、大願、幌達布、砂浜と北村の2/3が冠水し、1週間近く浸水が続いて農作物に壊滅的な大打撃を与えましたが、人命に被害がなかったことは幸いでした。

昭和56年洪水は、局地的に490mmの大雨でした。石狩川から旧美唄川に逆流し始め、地域住民に



洪水で冠水する北村地区

避難指示が出されたため消防車で広報活動に当たりましたが、周囲を見ると越水した水はみるみるうちに、田畑や住宅に広がり冠水。数時間後には消防庁舎裏の沼も増水、溢水し、ふと子どもの頃に体験した嫌な記憶が思い出され恐怖感を覚えました。

耕地面積の90%が冠浸水し、床下・床上浸水が出るなど被害が拡大。排水機場が水没して運転不能となったため水害は長期化。対策に当たった職員に体調不良者が出たり、自宅が冠水して

着替えも取りに行けず、下着の襟が黒ずんだまま一週間着ていたことを、今でも鮮明に思い出します。

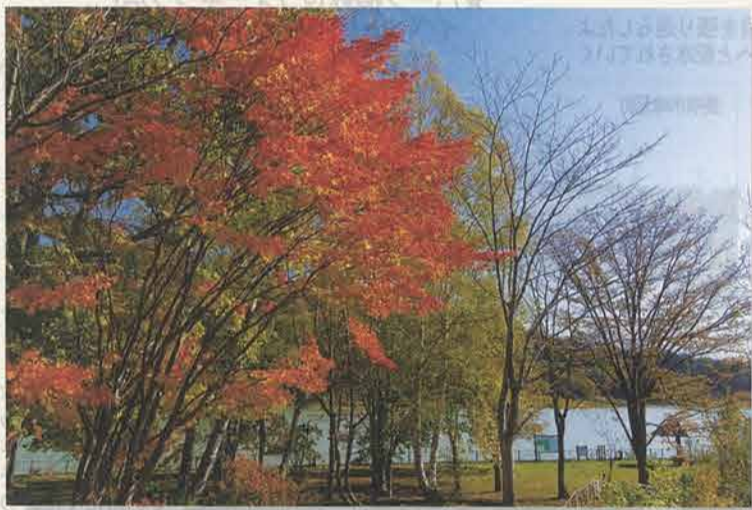
近年は治水対策等の進ちょくで26年間水害は発生していませんが、世界的な異常気象で、いつ災害が発生するかわかりません。

二度とこのような悲惨な水害が発生しないようお願いしたいものです。



岩見沢地区消防事務組合
北支署 支署長
保田 憲司

水辺の風景



「秋の桂沢湖」 三笠市 東 清明さん

秋の桂沢湖 10月に入ると湖畔も色づきはじり、湖面全体が秋色に染まってきます。場所：三笠市桂沢湖

写真募集 あなたの好きな水辺の風景を写して、本紙事務局までお送りください!

応募内容

プリント、デジタル、ポジフィルムなど形態は自由です。写真のほか、川への「想い」を100文字程度にまとめて、下記のおたより欄に記載してある住所までお送りください。本誌「大好き! 幾春別川」に掲載させていただきます。※1人何点でも応募できます。また、写真の返却はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

数多くの子供が水難事故に遭い、尊

出典「幾春別川物語」

岩見沢市内の狩野橋(旧川向橋)付近の幾春別川には線路の護岸用の大きな石垣があり、水の流ればその石垣にぶつかって大きく右に曲がっていました。流れは穏やかでしたが、よどみが深くて子供の目にも危険な場所でした。しかし、夏の水量が少ない時は子どもたちの唯一の水泳場となっていました。泳ぎが上手になると、石垣から飛び込んで泳ぐようになります。新前の子供や川の様子から分からない者は、この石垣の深みでよく溺れたそうです。この橋を中心として幾春別川でも

幾春別川流域の風土資産

パート. 1



光明寺境内(下)に安置されている「宝性地蔵」



幾春別川での川遊びと「宝性地蔵」

幾春別川流域には、先人たちが培ってきた貴重な風土の資産が数多く存在しています。本紙ではそのような風土資産を取り上げ、連載で紹介していきます。

お・た・よ・り 募集中 お待ちしております!

本紙は、楽しい紙面を作るためにみなさまからのご意見や感想、また、今後取り上げてほしい記事の内容などについておたよりを募集しております。下記のおたより先までおたよりをご郵送ください。

★送付先★
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目
石狩川開発建設部 岩見沢河川事務所内
「大好き! 幾春別川」編集委員会事務局
※ご質問の場合も、郵送またはファックス(0126-25-1697)へお願いします。

年間行事予定

■サケの遡上調査

- 開催予定日: 9月下旬~10月下旬
- 開催場所: 川向頭首工 (岩見沢市)
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会

■幾春別川クリーン作戦

- 開催日: 10月10日
- 開催場所: 桂泉橋及び錦橋周辺 (ほか市内4ヵ所 (三笠市))
- 主催: NPO法人 三笠森水遊学舎

■幾春別川緑の回廊づくり植栽事業

- 開催日: 10月10日
- 開催場所: 萱野橋付近(三笠市)
- 主催: NPO法人 三笠森水遊学舎

■第20回みかさ桂沢紅葉まつり

- ~桂沢ダム管理所50周年植樹~
- 開催日: 10月14日
- 開催場所: 桂沢湖畔公園
- 主催: みかさ桂沢紅葉まつり実行委員会

■水辺の緑いっぱい作戦(植樹)

- 開催日: 10月14日
- 開催場所: 桂沢湖畔
- 主催: 幾春別川ダム建設事業所

■サケの特別採捕・体験学習

- 開催予定日: 10月31日
- 開催予定場所: 川向頭首(岩見沢市)
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会

■緑の回廊メンテナンス事業

- 開催予定日: 10月下旬

- 開催予定場所: 狩野橋付近(岩見沢市)
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会

■緑の回廊づくり事業

- 開催予定日: 10月下旬
- 開催予定場所: 大沼付近(岩見沢市北村)
- 主催: NPO法人 山のない北村の輝き

■サケの発眼卵受け入れ

- 開催予定日: 11月下旬
- 開催予定場所: 岩見沢水道庁舎研修室
- 主催: 幾春別川をよくする市民の会